

花實両全

広報3G 阿久津寿子 中本智子 村山和之



オープンキャンパス は、未来への第一歩

高校生の皆さん、そして保護者の皆様。お子様の進路について考える日々は、期待と不安が入り混じり、心を落ち着かせる暇もないことでしょう。成績や偏差値はもちろん重要ですが、それだけでは見えてこない、大学の「本当の姿」を知る機会が、オープンキャンパスです。今回は、保護者の視点から、オープンキャンパスに参加することの意義についてお伝えしたいと思います。

私たちが初めてオープンキャンパスに参加したのは、高校2年生の夏でした。最初は、パンフレットやウェブサイトで情報を集めるだけで十分ではないかと思っていました。しかし、実際に大学のキャンパスに足を踏み入れた瞬間、その考えは大きく変わりました。

オープンキャンパスに参加する最大の意味は、何よりも「大学の雰囲気」を肌で感じることです。広々としたキャンパスを歩き、学生たちの活気ある声を聞き、レンガ造りの校舎や最新の研究施設を自分の目で見ると、これらは、活字や写真だけでは決して伝わってきません。お子さんが「ここで学びたい」と心から思えるかどうか、その直感を大切にしてほしいのです。

また、オープンキャンパスは、そこに通う「学生たちの姿」を間近で見ると、絶好の機会です。案内役を務める学生、食堂で楽しそうに話す学生、図書館で真剣に勉強する学生。彼らの生き生きとした表情や態度から、その大学の教育方針や、学生生活の充実度を垣間見ることが出来ます。お子さんが将来、その場所でどのように成長していくのかを想像する手助けにもなるでしょう。

さらに、オープンキャンパスでは、様々な「生きた情報」を得ることが出来ます。模擬授業や体験授業に参加すれば、その学問の面白さや奥深さに触れることが出来ます。教授や在校生に直接質問できる相談コーナーでは、入試制度やカリキュラム、大学生活のリアルな話を聞くことが出来ます。これは、お子さんの志望校を決める上で、非常に重要な判断材料となります。

保護者の皆様にとっても、オープンキャンパスは大切な時間です。お子さんがどのような環境で4年間を過ごすのか、教育方針やサポート体制はどうか、アクセスは便利か、などを自分の目で確かめることが出来ます。お子さんと一緒に参加することで、進路についてじっくりと話し合うきっかけにもなります。

「オープンキャンパスにたくさん行くのは大変そう…」と思われるかもしれませんが、しかし、お子さんが「この大学に通いたい」と確信を持てるかどうかは、これからの受験勉強のモチベーションを大きく左右します。大学の雰囲気や学生の姿に触れることで、漠然とした「憧れ」が、具体的な「目標」へと変わります。

受験勉強は、お子さん一人だけの戦いではありません。私たち保護者も、お子さんの夢を応援し、共に歩んでいくことが大切です。ぜひ、高校生のうちに、お子さんと一緒に複数のオープンキャンパスに足を運び、未来への第一歩を踏み出してください。オープンキャンパスで得られる感動や気づきは、きっとお子さんの未来を明るく照らす、かけがえのない経験となるはずです。